

伸びゆく子

栗東市立大宝東小学校だより No.4

令和7（2025）年6月27日

児童数 353名

心あたたか活みなぎり、仲間と共に伸びゆく子

（だ）れにでも優しい子 （い）きいき学ぶ子 （ひ）ととつながる子 （が）んばりぬく子

毎日の安全に感謝の気持ちを

令和7年度が始まり3か月が経とうとしています。梅雨に入り蒸し暑く、学校でも空調が欠かせない時期となっております。熱中症の心配もあり、外出時の黄帽の着用、水筒の持参と水分補給、体調が悪くなった時の教職員への連絡等、その時々に応じて教室で伝えたり放送を流したりして注意喚起しているところです。今後も気持ちを切らさず安全に学校生活が送れるよう努めて参ります。

先日は臨時号において「言葉のもつ力」について触れさせていただきました。

【お子様と話していただきたいこと】

- ① 言葉の力というものはとても大きいということ。
- ② 「あっち行け」「死ね」「うざい」「どけ」など心にチクッと刺さる（心が痛くなる）嫌な言葉については使ってはいけないこと。

少しの時間でもお話をしていただけたでしょうか。一つの出来事は過ぎてしまえばそれで終わりではありません。大切なことほど心の中にためていって、より良い生き方をしていきたいものですね。このことに関わらず、引き続きご家庭での対話を心掛けていただきますようよろしくお願いします。

さて、先日地域の方からこんなお知らせをいただいたので紹介いたします。大宝東小学校横の歩道において、樹木の葉がよく茂り、視界を塞いでいました。そこで連絡を取っていただき、子どもたちの様子が遠くまで見取れるよう伐採していただいたとのことでした。子どもたちの安全を見守っていただくと同時に、より安全な環境にするために動いてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちにも引き続き、たくさんの方に見守られて成長していることを伝えていきたいです。

伐採前



子どもたちの姿が見えません

伐採後



子どもたちの姿がはっきりわかります

校長 安本 昌彦

4年生「びわこホール」芸術鑑賞

「環境センター・浄水場」見学

舞台芸術に直接触れる機会を通じて、芸術への関心を高め、芸術を感じる心や創造性を育むことを目的として、交響楽団の演奏を鑑賞しました。子どもたちは音楽に合わせて体を動かしたり口ずさんだりして楽しんでいる様子でした。栗東市環境センターでは、「地球環境」と「ごみ資源」をテーマとし、地球にやさしいごみ処理がなされていることを知りました。そして日頃からごみをできるだけ出さない工夫やリサイクルができるようにきちんと分別することの大切さを学びました。浄水場では、環境にやさしい浄水場をめざして、自然エネルギーを利用した施設の運用がなされていることを学びました。



水泳学習スタート！

今年のプール掃除は水がなかなか抜けなかったことから、例年より少し難航しましたが、5・6年生の頑張りにより、無事学習をスタートさせることができました。安全に楽しく学習できるよう、まずは教室やプールサイドで約束について確認。一人ひとりに合った目当てを持ちながら、楽しく学習できるよう、指導・支援しています。



3年生「日清食品工場」見学

3年生が社会科の学習で日清食品工場へ見学に行きました。長いベルトに乗ってカップヌードルが、様々な工程を経て出来上がっていく様子を歓声をあげる子どもたち。念入りの最終点検から、衛生面や安全に気をつけながら作業されている様子に気づくことができました。

事前に具材を選択し、楽しみにしていたカップヌードル作りでは、それぞれ好きな具材を選んで、オリジナルカップヌードルを作りました。



音楽会

「緊張する～」というつぶやきが聞こえてくるほど、たくさんのお客さんを前に喜びと緊張で胸がいっぱいの子どもたちでしたが、今までの練習成果を精一杯発揮しようと頑張りました。

保護者様や地域の皆様から大きな拍手をいただき、満足そうな笑みを浮かべる子どもたち。みんなで重ね合うハーモニーの素晴らしさを味わいました。

